



© sayaka

野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



山と海辺の冬の使者たち

野鳥さが 198号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 平成26年度愛鳥モデル校指導報告-----3ページ
- 各地の観察会報告-----5ページ
- 皆さんからのおたより-----13ページ
- 有明海の満潮時刻-----16ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報-----17ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から-----20ページ
- さやかの四コママンガ-----23ページ
- 近隣地区の観察会情報-----24ページ
- 観察会場までの案内-----25ページ
- 観察会などのお知らせ（2015年2月下旬～4月）-----26ページ



役員会報告



●2014年度 第9回～第11回役員会

【参加者】第9回（14/12/21）宮原明幸、田中丸雅雄、橋本泰博、馬場清、山崎章弘、江里口立子、蒲原留美、島田洋、青柳良子

第10回（15/1/11）橋本泰博、田中丸雅雄、中村さやか、原野正道、坂田紀子、江里口立子、中原正義、島田洋、青柳良子

第11回（15/2/8）宮原明幸、江里口立子、中村さやか、島田洋、青柳良子

【主な話し合い項目】（既に終了した案件については割愛したものがああります）

（1）カササギ調査関連

1975（昭和50）年、1989（平成3）年に佐賀県が県全域においてカササギの巢の調査をした事がある。鳥獣保護員などを動員しての調査であつたらしい。それによると1975年には県下で約2000羽、1989年には約5000羽がカウントされている。この数字の根拠などは不明。2015年いっぱいをめどに佐賀県支部なりに調査を試みる。すでに県内在住の支部会員に対して、調査アンケート用紙を配布している。

（2）ラムサール条約登録関連

環境安全省から支部長あてに、東与賀海岸のラムサール条約登録の賛否について問い合わせがあつた。佐賀県支部は、当然大いに賛成である。その後、東与賀海岸がラムサール条約に登録される見通しとなつたらしい。鹿島の新竈海岸に関しては、登録されるか不明である。

（3）森林公園工事関連

県立森林公園では、自然破壊的な工事が進行中である。座視できるものではない。12月11日に佐賀県支部の宮原支部長、青柳副支部長が、佐賀野鳥の会の幹部とともに工事責任者である土木事務所に行き、申し入れを行った。土木事務所は森林公園の遊具の老朽化などがあつたため、「利用者」のアンケートを聞いて工事を開始したなどという。土木事務所は工事においては、自然への配慮が足りなかつたことは一応認めた。

森林公園の今後については、佐賀県支部からも提案をしていくこととなろう。適切な樹種を指定して植林してもらう事などがある。野鳥の会だけではなく他の環境保護団体からの提案も必要となろう。（20ページに佐賀新聞の記事を掲載しています）

（4）九州・沖縄ブロック協議会、及びブロック大会関連

九州・沖縄ブロック協議会が2月1日に福岡市内で開催された。規約や人事などについての会議が行われた。カメラマンのマナーの悪さなどが話題となった。九州・沖縄ブロックの新しい代表に、佐賀県支部長の宮原明幸さんが選出された。また、4月18～19日に九州・沖縄ブロック大会が開催される。



主催は熊本県支部。会場は荒尾市内。観察会は荒尾海岸（2012年にラムサール条約登録）で行われる。参加者を募集する。参加費は12,000円。
問い合わせは事務局長の島田まで。

(5) 平成27年度佐賀県支部総会について

5月24日に開催予定。会場は「水ものがたり館」。詳細は次号でお知らせします。

(6) レンコン畑の防護ネット問題 及び 有明海における海苔の食害について

白石町の一部のレンコン畑では、畑の上にオレンジ色のネットをかぶせている。「野鳥による食害防止対策」らしい。このネットに絡まって多くの野鳥が犠牲になっている。タシギ、ツクシガモ、コガモなど様々な野鳥が犠牲になっている。この状況は、放置できない。まずは、佐賀県庁の関連部署に対処を要請する。有明海においては、カモによる海苔の食害があるのは事実である。野鳥保護はもちろん重要であるが、海苔で生計を立てている多くの人に対する配慮も必要であろう。

県外探鳥ツアーのご案内

「見島」探鳥ツアー

【日時】 5月2日（土）～4日（月） 【探鳥地】 山口県萩市『見島』

【観察する鳥】 日本海の孤島『見島』へ渡り途中の鳥に会いに行きます。

【費用】 約30,000円 【申込み締め切り】 3月31日

【申し込み先】 宮原明幸さん（佐賀市・携帯：090-2507-7085）まで。



平成26年度 愛鳥モデル校指導報告 (報告者：馬場 清)

今年度の愛鳥モデル指定校の愛鳥指導は無事に終了しました。

(1) 伊万里市立東山代小学校

☆ 指導対象・・・5年生児童64名

☆ 指導スタッフ・・・田中丸雅雄、佐田秀文、松原忠夫、青柳隆、山崎章弘、馬場清

■野鳥学習会（平成26年12月18日）・・・野鳥の写真、巣、などを展示し、映像はツルの渡り、小学校周辺で見られる鳥たちの種類をプロジェクターで投影して、解説を加えながら学習をしました。なお、当校は環境省のツル越冬分散化事業の関連地区の学校として、伊万里市役所・農山漁村課よりツルのデコイ設置、事業活動状況のパネルの展示もされていた。

■野鳥観察会（平成27年1月23日）・・・64名全員に双眼鏡を渡し、取扱いを説明して7班に分かれ、各班に1名の支部指導員が付きスコープを見ながら行動しました。拡大された鳥の羽根、色、くちばし、動きに歓声を上げていた。観察された鳥は27種類でした。



- 巣箱作り（平成 27 年 1 月 27 日）・・・ 2 人組みを作り体育館で行なう。指を打ったり、部品を間違ったりして苦労しながらも、お互いに助け合いながら、全員がきれいに完成させました。 当日は保護者会の集まりもあり、親子ふれ合いの場でもありました。 取り付け場所や今後の観察の説明をしました。家庭や校内に設置して、鳥たちに大いに親んでもらいたいものです。また鳥インフルエンザの話では納得されていたようでした。



野鳥学習会



野鳥観察会



巣箱作り

(2) 唐津市立北波多中学校

☆ 指導対象・・・ 1 年生 50 名（野鳥学習会&野鳥観察会）、2 年生 48 名（巣箱作り）

☆ 指導スタッフ・・・ 田中丸雅雄、佐田秀文、青柳隆、馬場清

- 野鳥学習会 & 野鳥観察会（平成 27 年 1 月 22 日）・・・ 鳥の渡り、食物連鎖、自然の大切さ、学校周辺の鳥たちなどをプロジェクターで解説しました。

その後、野鳥観察会へ。 学校周辺の河川敷で水辺の鳥たちを主に観察して、給食前に終了しました。確認された鳥は 22 種類でした。

- 巣箱作り（平成 27 年 2 月 5 日）・・・ 技術室で行いました。 慣れないカナツチを使い、部材を間違っ打ち付けて変形した巣箱だったり、クギが曲がったり、指先を打ったりと、悪戦苦闘しながら完成させました。 設置場所や今後の観察についての説明して終了しました。

また鳥インフルエンザの話では納得されていたようでした。



野鳥学習会



野鳥観察会



巣箱作り

※愛鳥指導をされた皆様、お疲れ様でした。 ありがとうございます。
次年度もお世話になります。



各地の観察会報告



■東与賀海岸・大授掬観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 26 年 12 月 7 日

【参加者】 大川幸子、大川裕也、新田直哉、加藤芳隆、原秀親、河口秀博、中島修、中島由美子、池田亮、高山英一、溝上くみ子、八木ひとみ、橋本泰博、宮崎八州雄、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】 ツクシガモ、マガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、ダイサギ、アオサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ハマシギ、オオハシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ハウロクシギ、ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、ハヤブサ、モズ、ミヤマガラス、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、オオジュリン

【案内役からの一言】

寒い朝、午前 8 時の集合時刻のためか、集まる人は少ない。それでも初めての参加者 3 名を含む 10 名の方が集合。干潟には一面に鳥たちが広がる。前回 11 月の観察会では数十羽だったツクシガモが 1000 羽以上に増えている。満潮時にはハマシギの群れが 20~30m の距離まで近づいてくれた。終了間際にはクロツラヘラサギ 20 羽、ヘラサギ 3 羽も飛来し、皆様満足そうでした。

■第 205 回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 26 年 12 月 14 日

【参加者】 荒木潔枝、伊藤樹、高山英一、田中義一、田中照美、友岡周一、中島修、中島由美子、永島博、八木ひとみ、原秀親、福田康典、古川恵子、宮崎明美、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】 カワウ、カイツブリ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ハイタカ、オオバン、イソシギ、ズグロカモメ、キジバト、ドバト、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、コイカル、ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス

【案内役からの一言】

森林公園・・・遊具リニューアル工事で、梅林、和風庭園、アスレチック広場周辺の木々は全て伐採され地肌むき出しの無残な状態となっています。それでも、此处で冬を越すため、鳥達は渡って来ました。無事に冬を越せることを祈るばかりです・・・

■巨勢川調整池観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 26 年 12 月 21 日

【参加者】 青柳良子、伊藤樹、上野武美、江里口立子、大川幸子、大川裕也、加藤芳隆、新田直哉、高崎洋三、高崎由美、田中義一、田中照美、田中丸雅雄、永島博、橋本泰博、原秀親、久富文江、益田ミドリ、三浦司一、吉田俊明、宮原明幸、（案内役）

【観察された野鳥】 カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ミサゴ、オオタカ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、イソシギ、ドバト、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ツリスガラ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

日差しもなく、寒い日でしたが・・・調整池で羽を休める水鳥、それを捕食するオオタカ、アシ原にはホオジロ類と、たくさんの鳥たちが観察出来ました。

■朝日山 New Year 観察会報告（鳥栖市）

【日時】 平成 27 年 1 月 2 日

【参加者】 千住利夫、寺村朋輝、中島修、中島由美子、中原正義、原秀親、久富文江、吉田俊明、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】 ミサゴ、クサシギ、イソシギ、キジバト、アオバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、キセキレイ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、クロジ、カワラヒワ、ウソ、イカル、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

あけましておめでとうございます。 正月早々の寒波到来で、雪の降り落ちる中での探鳥会でした。 鳥も、お天気同様芳しくありませんでした。

■松浦河畔公園観察会報告（唐津市）

【日時】 平成 27 年 1 月 4 日

【参加者】 青柳隆、青柳良子、中嶋修、中島由美子、佐田秀文、佐田映子、松原忠夫、松原はま子、宮崎末徳、豊岡三郎、寺村朋祥、田中照美、大川幸子、大川裕也、永安通、佐久間仁（案内役）

【観察された野鳥】 カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミサゴ、トビ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、クサシギ、イソシギ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ウミネコ、キジバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、

ホオジロ、カシラダカ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、カササギ、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

前日までの寒さが一段落。 風もほとんどなく、のんびりと観察できました。

今回、2羽のハジロカイツブリを見つけたことや、河畔に立つ国土交通省の建物上のアンテナに止まるチョウゲンボウを見ることができたのは収穫でした。コサギやモズ、ハシボソガラスなどの常連が登場してくれていたら軽く50種を超えていたのですが。

二時間半の探鳥会で一度に50種類の鳥が見られる場所というのは、よく考えると県内ではあまりないですね。



(写真提供：佐久間仁さん)

■水ものがたり館観察会報告 (佐賀市)

【日時】 平成27年1月11日

【参加者】 宮原明幸、野口美樹・萌花、橋本泰博、青柳隆、友岡周一、田中義一、伊藤樹、中原正義、高崎洋三・由美、福田康典、原野正道、山口蒼生、上野武美、田中丸雅雄、坂田紀子、原秀親、江里口立子、中村さやか・弘一郎・翠、久富文江、永島博、島田洋、青柳良子(案内役)

【観察された野鳥】 カワウ、アオサギ、コガモ、クイナ、バン、オオバン、コチドリ、キジバト、ドバト、カワセミ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、メジロ、シジュウカラ、ホオジロ、オオジュリン、カシラダカ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

「水ものがたり館主催」の観察会に便乗させていただきました。

天候に恵まれたこともあって参加者は全体では50名超 だったでしょうか。

大勢だったので二つのグループに分かれて観察をしました。

野鳥の会は「観察指導」ということで「スコープを通してはっきりした野鳥の姿を観てもらふこと」「何でも質問してもらふこと」を参加者のみなさんをお願いしておきました。 観察会後に水ものがたり館が行ったアンケートでは、

* スコープでよく観察することが出来ました。多くの野鳥ファンがいておどろきました。

* 鳥の種類が多さに驚きました。気付かないだけでした。

* ウグイスの実物を観ながら知ることができ、とても良かったです。

丁寧に教えていただきありがとうございました。

* 日常で鳥を観ることが楽しくなりそうで良かったです。

* 愛鳥家の仲間との探鳥は楽しかった。

等々（まだまだ嬉しい感想が沢山ありますが、紙面の都合で紹介しきれません。）
また、アンケートに答えた91%の方が「鳥に興味を持った」との回答でした。
一人でも多くの野鳥ファンを増やしたいと思っている私達にとって嬉しい反応で
した。「入会案内」も何人もの方がお持ち帰りになりました。
会員が増えるといいですね。 観察指導に当たって下さったみなさん、ありがとう
ございました。 今回の観察会で、クイナが初記録でした。

■東与賀海岸・大授掬観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成27年1月25日

【参加者】 新田直哉、豊岡三郎、青柳良子、加藤芳隆、峰松小百合、中島修、
中島由美子、江里口立子、友岡周一、横尾香奈美、江口富美子、
小松常光、小松茂子、待鳥房義、中村さやか、浜村勇、江口順二、
宮田雄一郎、宮田るみ子、柴原とき子、八木ひとみ、河口秀博、
田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】 ツクシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、ハシビロガモ、オナ
ガガモ、ダイサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、シロチドリ、メダイ
チドリ、ハマシギ、オオハシシギ、アオアシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、
ユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ

【案内役からの一言】

当日、東与賀海岸堤防では佐賀市校区対抗駅伝
大会が開催されていて、多くの選手と応援団で
大賑わいです。 風もなく暖かい天候で、駅伝
大会にも観察会にも絶好の日和です。

サガテレビの番組「カチカチワイド」の取材を
受けながらの観察会でしたが、参加者もテレビ
カメラを前にインタビューを受け、野鳥観察の
素晴らしさ、楽しさを説明されていました。

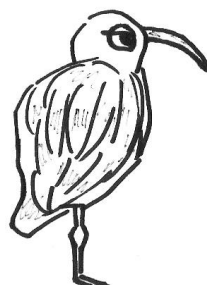
倒れた鉄塔には、最初4羽だったクロツラヘラ
サギもどこからともなく飛来し、次第に増えて
19羽となる。

初めての参加者も多く、クロツラヘラサギが首
を振りながら餌を採る様子を興味深く観察され
ていた。

シロチドリ→



（写真提供：八木ひとみさん）



■第206回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成27年2月8日

【参加者】 宮原明幸、田中義一、青柳良子、中島悟、中島由美子、大坪昌幸、江里口立子、田中照美、久富文江、古川恵子、峰松小百合、中村さやか、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】 カワウ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、タゲリ、クサシギ、セグロカモメ、ズグロカモメ、キジバト、ドバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシボソガラス

【案内役からの一言】

寒風がきつい。雨もぱらつき、観察会にはつらい気象条件でした。それでも参加者が集まり、9時過ぎに観察を開始しました。公園は、広い面積が工事中であり、歩ける場所は限られています。参加者からは「森林公園が台無しよ。」という言葉がきかれます。「しゅんせつ工事」の看板。池の底がむき出しになっていました。クサシギが水辺を徘徊して何か探しています。頭上をカワウの群れが列をなして横切りました。

嘉瀬川沿いの道路に上がりました。吹きさらし。とにかく寒い。

水面にはカモの大群。セグロカモメ1羽。ズグロカモメ1羽もその中に交じっておりました。集合場所に戻ります。草地の上に野鳥の群れ。アトリ、カワラヒワの混群でした。鳥合わせでは、22種類。風は寒く、観察結果も寒いものでした。工事によって森林公園はどう変化していくのか、経過をみていくつもりです。



工事の様子と、閑散とした工事エリア



※佐賀新聞に掲載された記事を20ページに載せています。

（写真提供：中村さやかさん）

土木事務所による工事案内

番外編（観察会以外の支部行事 や 他団体への協力についての報告）

■ツル越冬分散化事業・伊万里市長浜干拓地ツル監視活動に協力しました。

【飛来状況】

（報告者：馬場 清）

- 1月12日 2ファミリー7羽が長浜干拓地と対岸の木須干拓地を行き来していた。
- 2月 2日 1ファミリー4羽が長浜干拓地で、最初に飛来した1ファミリー3羽が対岸の木須干拓地で終日過ごしていた。
- 2月25日 武雄市武内町に北帰行のマナヅル100羽超の飛来が報道される。翌朝には伊万里に飛渡した。（21ページに新聞記事を掲載）
- 2月26日 長浜干拓地にマナヅル100羽超が新たに飛来する。武雄市に飛来したマナヅルとは別集団で、2泊して北帰行の途についた。
- 3月以降は移動が確認できない。他の日付で松原さんも監視活動をされておられます。

■「伊万里市歴史民俗資料館」の市民探鳥会を案内。

（報告＆写真提供：馬場 清）

【日時】 平成27年1月18日

【野鳥観察指導】 山崎章弘、松原忠夫、馬場 清
伊万里市民の親子約20名参加の探鳥会に指導員として参加しました。



■日本野鳥の会創立80周年記念写真展

「未来に残したい鳥風景」が開催されました。

（報告者：中村さやか・馬場 清）

日本野鳥の会創立80周年記念写真展が鹿島市で開催されました。

九州ではただ1か所、「道の駅・鹿島」内の干潟展望館のみの開催で、期間中は支部の方々に来館者の案内をして頂き、大変好評で、延べ2千人以上の方にご来場いただきました。

この写真展は全国を巡回しており、現在は2月27日まで東京・日比谷公園内の「みどりのiプラザ」で開催中です。全国から応募され、入賞以上の迫力ある作品ばかりで野鳥の魅力、自然の偉大さ、環境の大切さを実感しました。

また、干潟展望館には干潟の魚介類や底性生物が展示されています。特にクラゲの水槽は必見の価値があります。皆様も是非お出かけ下さい。（21ページに新聞記事を掲載）



（写真提供：中村さやかさん）



各種委員会や交流会への参加報告

■全国シギ・チドリ類ネットワーク交流会 in 鹿島へ参加。 (報告：馬場 清)

【日 時】平成 26 年 9 月 30 日

【参加者】田中丸雅雄、宮崎八州雄、中村安弘、中村さやか、馬場 清

鹿島市新籠地先干拓は「東アジア・オーストラリア地域 渡り性水鳥重要生息地ネットワーク」参加地として認定されており、交流会を通じて情報の共有、渡り性水鳥の現況を理解し、促進するために開催された。根室市から沖縄市まで各地の干潟、水鳥の現状報告があり、今後のラムサール条約湿地登録に有意義な集まりでした。

■肥前鹿島ラムサール条約湿地登録実行委員会へ参加。 (報告&写真提供：馬場 清)

【日 時】第 1 回：平成 26 年 9 月 30 日

第 2 回：平成 27 年 1 月 28 日

【協議内容】 ・全国シギ・チドリ類ネットワーク
交流会の反省および
・ラムサール条約湿地登録の計画、
現状、今後の活動について



■「全国探鳥会リーダーズフォーラム」 in 八王子に参加。 (報告&写真提供：馬場 清)

【日 時】平成 27 年 2 月 7 日～8 日

【会 場】東京都八王子市 八王子セミナーハウス

【参加者】青柳 隆、馬場 清

全国支部等連携団体の探鳥会リーダーを対象に開催されました。各地の探鳥会活動に携わっている方々 30 名＋本部員 10 名が参加された。

☆1 日目・・・探鳥会について話そう (ワールドカフェ)

各地の探鳥会の現況が報告された。分科会は 3 項目があり、事前申し込みで「雨の日に野鳥ファンを増やそう！ 室内イベントのすすめ」に参加した。(馬場)

- ・雨天では中止するのではなく、室内でやれる創意工夫したイベントを開く。
- ・羽根のしくみ、色合い、くちばし、足、鳴き声等に特化した教材 (写真、紙芝居映像) を準備しておく。
- ・プロジェクターが設置されている施設を事前に把握、予約しておく。

以上のような話があった。

夕食後は懇親会があり、各地のお土産や地酒の差し入れ品を沢山持参されていた。

佐賀の地酒、産物を準備できなかった事が残念でした。

カササギバッチを沢山購入してもらったのに「飲む、食う」ばかりですみませんでした。

セミナーハウスは、20～30 分も歩かないと商店もコンビニもない林の中の居城です。

☆2日目

分科会は「子どもたちの心に響く親子探鳥会を考えよう」に出ました。(青柳、馬場)

- ・子どもたちに伝わる身近な自然体験をさせよう。
- ・子ども目線で自然の中に入って、動いて、見て、聞いて、触って、嗅いで、感じて、五感をフルに使い大人にない学びを身につけよう。
- ・繰り返し自然で学び、危険やフィールドマナーや自分の身を守る術を身に着けよう。
- ・自然体験で一番大切な感動の芽を育てる事が大人になってから役に立つでしょう。

以上のような内容を勉強した。



※青柳隆さんからも感想をいただきました。

☆「探鳥会リーダーズフォーラム」で学んだこと・・・青柳 隆

去る2月7日(土)・8日(日)の2日間、東京都八王子市の八王子セミナーハウスで開催された「2014年度 探鳥会リーダーズフォーラム」(主催:日本野鳥の会普及部)に参加しました。このフォーラムは(公財)日本野鳥の会普及室スタッフの方々を含め、全国各支部・地域での探鳥会リーダーが43名集い、第1日目は4つの分科会、2日目は3つの分科会、そしてその前後に全体会を配置する形で開催されました。

以下学んだことの要約等を記します。

- (1) まず、全国の参加者の中に、私のような経験未熟かつ浅学者はほとんど見当たりません。(これは幸かそれとも不幸か?) フォーラム終了時の感想として、学ぶべきこと多く、参加して良かったと思いました。
- (2) 探鳥会開催の目指すところは、日本野鳥の会 会員数の拡大だと言えます。自然保護活動のためには、多くの人々の参集が不可欠ですし、行政等を動かす原動力は人の力だと思えるからです。
- (3) 探鳥会は、一般の人達を対象にしたり、子供たちや、若手や初心者など参加対象が様々ですが、共通なのは、特に初めて参加する人にとって、また来たくなる魅力あるものでなくてはなりません。2日間の分科会に参加してリーダー自身はもちろん、参加者に自然の仕組みや自然環境について強い関心を抱かせるために、よく工夫された内容にすることや、会の持ち方もよく考えて開催しなければならないと強く感じました。
- (4) リーダーやベテランは1つでいいから専門性を持ち、役割をよく分担して特色のある観察会や学習会に生かすようにすること。また、リーダーは鳥の生態系を通して自分のフィールドに詳しいトコロジストとなり、みんなに伝えたり、みんなで

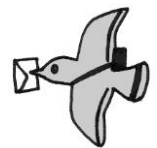


調べたりしながら、環境保全を目指して「点から面」への活動をするこの大切さも学びました。

- (5) 私が参加した分科会の1つは「子供たちに響く親子探鳥会を考えよう」でした。日本野鳥の会ひょうご代表の丸谷聡子さんの実践が紹介されました。丸谷さんは中学生の時にイヌワシに魅了されて野鳥に関心を抱き、なんと高校3年生の時に兵庫支部の役員になったそうです。子供たちに野鳥学習を通して環境教育を展開しておられます。持続可能な社会構築に向けた2つの「そうぞう力」つまり、想像力と創造力を育むことが大切だと言っておられます。室内外学習の実践例を沢山紹介してくださり、そのアイディアと熱意にとっても感動しました。
- (6) カササギの保護活動に取り組み始めた佐賀県支部を紹介し、支部発足20周年記念で作成したカササギバッジのことも話をしました。懇親会の席上で33個のバッジを買っていただきました。(共に参加した馬場清さんとがんばりました。)



皆さんからのおたより



●「むかごご飯を食する会&リース作りに参加して」

・・・田丸久子さん（佐賀市）

何週間も前から楽しみにしていた11月30日がやっと来た。しかし空模様ははっきりしない。担当の原野さんに電話で聞くと、「やっていますよ」と。喜びいさんでキャンプ場へ。役員の方々は早くから準備のため忙しそうに作業をされていた。初めて参加した私も、「何なりと」と思い、お家から持参されていた自然薯をすり始めた。やがてリース作りが始まったようで、私はそっちの方が気になり、自然薯すりを放ってしまった。役員の方の軍手をお借りしてリースを作り始める。なんと今まで見たことの無いような美しい色、珍しい形の木の実の数々と葉っぱ。そして丸くかたどった蔦の輪。何日も前から今日のために、準備に取り掛かって下さったことに感謝しながら、有難く使わせて戴いた。久しぶりに可愛いお子様方とも触れ合うことができ、新鮮なアイデアをもらった。

やがてほっかほっかのむかごご飯、あつあつの豚汁、粘りの強い滑らかな自然薯を戴く。自然に囲まれた山のなかで、口にした出来立ての食事。なんと美味しいこと。

忘れられない味となりました。役員の方々が、どんなにか心をくだき準備されてきたかと思うと頭が下がりました。

自然に触れる機会の少ない東京の孫に、蔦の輪と木の実を分けていただき、送りました。

早速「作ったよ。楽しかった。」と作品の写真が送ってきました。

今回参加して、皆様にお世話になることばかりでした。来年も、また参加させてください。今度は少しお手伝いもできればと思いました。楽しい一日、ありがとうございました。



●「今年もトムソーヤの森の巣箱を掃除」・・・古川 博英さん（吉野ヶ里町）

1月11日にトムソーヤの森の巣箱3個を回収してきました。箱の中を掃除して日光浴をさせて、18日にまた同じところに設置しました。一つは建物、一つは入場門、一つは歩道入口です。写真を添付しますから、皆さんも巣の中をのぞいてみてください。



●「鳥図の鳥たち 第4回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

今回の鳥はジョウビタキ、クイタダキ、イカルなのですが、いつも通りのことで表記方法の違いなのか、当時そう呼んでいたのかは判りません。見た目ジョウビタキの鳥の表記は漢字構成が“秀+鳥”である。表記名「菊イタ・キ」は名前からクイタダキと思われるが頭が赤いのである。表記名の「小マメ」はイカルかコイカルと推定できるが、目の位置からイカルか？しかし嘴の色が微妙に違う。

（編集注：ジョウビタキの絵で名前の横に「生寫」とありますが、実物を見て描いたものと思われる。）



秀+鳥（ジョウビタキ）



菊イタ・キ（クイタダキ）



小マメ（イカル）

●「散歩途中のカモたち」・・・小松 茂子さん（唐津市）

支部報、いつも楽しみに拝読させていただいています。最近、犬の散歩コースで、マガモに出会いました。雛のころから、知る人ぞ知るカモたちだそうですが、初めて出会った時のショックは忘れられません。犬どころではなく、犬のひもを片手にカメラを片手で、を繰り返していましたが、今日は仕事帰りに橋から見るといいました、いました。「クワッ」と声をかけると、一羽が、「グワ」と返事し、皆を引き連れてやってきてくれました。



ごめんね、何も持っていないくて、と謝りながら、シャッターを押してみました。

唐津市相知町の伊岐佐川の茶屋橋付近でのことです。

(編集係りより：写真のカモはマガモではなくアイガモあるいはアヒルと思われます。
小松さんにはそのように伝えました。)

● 「土を掘り返したら鳥たちが続々と集まり、 なんとシマアカモズまで！」・・・佐久間 仁さん(横浜市)

2015年二月某日、唐津市大名小路にある実家の入口には、車二台が駐車できるスペースが元々あったのですが、長い年月の間に土が溜り、すっかり狭くなってしまいました。このため、約三十年ぶりにスコップで掘り返し、道路に土を撒く作業に一時間ほど従事。

何も考えずに下を向いて土を放り投げる作業を続けていた最中、ふと何かの視線を感じます。振り返ると、ジョウビタキめが横のライラックの枝先で作業が終わるのを待っている様子。「そうか、腹がすいているんだろうな。」とスコップを振るのをしばし中断して休憩。すると、目の前3メートルの場所で、さっそく彼は散布した土の上に舞い降り、餌を探し回り始めました。どうも、彼の好物の小さな虫がたくさんいる様子。

作業を再開すると、今度はシロハラも参加。断続的に「カッカカッ…」と鳴きながら、私の姿が見えなくなると、すぐに茂みから飛び出してきます。

さらに、「えっ！」と声を上げたのは、モズらしい鳥もやってきたこと。

しかも、色具合からすると、普通の見慣れたモズではありません。急いでフィールドガイドを取ってきて見比べるのですが、頭は灰色、背中が灰色がかった茶色で、腹部は白い灰色。風を受けて羽が逆立った時には、腹部に波模様らしいものも少し見えますが、翼には白い部分もなく、一番似ている種類を強いて挙げればシマアカモズかと。

ジョウビタキも手を出そうとしなかった太めのミミズが気に入ったらしく、しかしながら一気に呑み込めそうにないため、バラの木に飛びあがって食べようとする姿が印象的でした。もしかしたらバラの棘を利用したのかもかもしれません。

なお、解説によると、シマアカモズは夏鳥とのこと。「いくら九州でも真冬にいるのかな？」と疑問を抱きつつ、東京に戻ってきたのですが、職場に掛かっている野鳥カレンダーを見て、思わず「あっ、これだ！ やっぱりシマアカモズだった！」と声を上げてしまいました。唐津の実家で見た鳥は、まさしく2015年野鳥カレンダー(2月のページ)の鳥そのものです。

それにしてもシマアカモズが、唐津市中心部の住宅に真冬に出てくることもあるんですね。まあ、夏鳥や冬鳥とされている鳥が、例外的に越冬したり越夏したりするケースは時々ありますが、何とも不思議な体験でした。

最後に、冬場、特に餌が乏しい時期に畑作業や庭掃除をやって、野鳥たちに餌を提供してやるのも、鳥たちと急接近できるいいチャンスかもしれません。皆さんもどうぞお試しあれ！

《追伸》後日、財団の安西主席研究員にお尋ねしたところ、

- ① シマアカモズは、九州では夏鳥・旅鳥・冬鳥のいずれの可能性もあり。
- ② 翼の白い部分がなかったとのことであればシマアカモズの可能性が高いが、モウコアカモズなどの交雑のケースもあり、多項目で詳細に比較検討しないと正確な同定は難しい。とのことでした。

●「怪鳥 クロハゲワシ 出現！！」・・・馬場 清さん（嬉野市）

平成27年1月17日（土）午前11時前、九州新幹線・新鳥栖駅の在来線下りホームで妻と特急かもめを待っているわずかな時間でした。

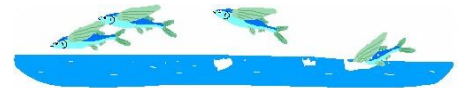
妻が驚いた声で「大きい鳥が・・・！」と言った。私もホーム上を見上げてまた驚いた。カラスにモビングされている黒い巨大な鳥。カラスの3倍強の大きな怪鳥です。カラス14～15羽が周りを飛んでいた。バックの中のデジカメを急いで取り出し、2～3枚を撮りました。すぐに電車が来ましたので、後ろ髪を引かれる思いで帰路につきました。長い間、鳥を観て来ましたが初めての体験で、感動を覚えました。

後日、野鳥の会員数名の方に写真を見せて鳥の種類の確認を仰ぎました。最初は“カラフトワシ”であろうとの声が多かったが、猛禽類の専門家に同定をお願いしたところ、頭部や風切羽根の形、翼幅の広さ等で“クロハゲワシ”でしよと確認された。

先日参加した、日本野鳥の会主催の「全国探鳥会リーダーズフォーラム」の参加者2～30名の皆さんに写真を見せました。そこでも“クロハゲワシ”と認定されました。翼を広げると250～290cmもあります。日本では希に観察される迷鳥で、数度の確認がされております。佐賀県では初めてでしょうか？



有明海の満潮時刻（白石・住ノ江港）



3月	1(日)	6:46/4.1m	18:44/4.1m	4月	4(土)	9:13/5.2m	21:35/5.3m
	7(土)	10:16/5.3m	22:27/5.2m		5(日)	9:43/5.3m	22:09/5.3m
	8(日)	10:41/5.3m	22:56/5.2m		11(土)	0:52/4.5m	12:45/4.4m
	14(土)	2:04/4.0m	14:08/4.0m		12(日)	1:50/4.3m	13:51/4.1m
	15(日)	3:45/3.9m	15:57/3.9m		18(土)	8:51/5.6m	21:20/5.8m
	21(土)	10:04/5.8m	22:23/5.8m		19(日)	9:33/5.6m	22:05/5.8m
	22(日)	10:40/5.7m	23:03/5.7m		25(土)	1:11/4.5m	12:48/4.1m
	28(土)	2:44/3.9m	14:29/3.6m		26(日)	2:04/4.1m	13:49/3.8m
	29(日)	4:36/3.8m	16:55/3.6m		29(祝)	6:02/4.3m	18:31/4.3m

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

- 東与賀海岸
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！
- 鹿島新籠海岸他
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）



皆さんからの野鳥&生きもの情報



■宮崎 八州雄さん（鹿島市）

2014年

11月16日【伊万里市八谷搦】チュウヒ 1、
ツミ?1、コミミズク 1（初認）、
シラコバト、ヘラサギ1、
カシラダカ3
※シラコバトは2012年に次ぎ県内
2例目。自然渡来と思われる。



シラコバト（ユーラシア、
北アフリカ大陸に分布）

11月22日【大授搦】クロツラヘラサギ 23、
ヘラサギ 1、ズグロカモメ
ズグロカモメ1羽に発信機?が着いて
いて、今年韓国の仁川で着けられたものらしい。

11月23日【鹿島市音成】クロツラヘラサギ 23、ヘラサギ 1、カモメ 1
【小城市芦刈町】オオタカ成鳥 1、ツグミ 30+
※オオタカは雨に濡れた翼を乾かしていた。

12月6日【大授搦】ウミアイサ 1、♀2

12月7日【大授搦】コチョウゲンボウ 1、ハイイロチュウヒ 1、クロハラアジ
サシ 2、ソリハシシギ 1、オグロシギ 2、オオハシシギ 12

12月13日【鹿島市有田川下流】アメリカヒドリ 1、イカルチドリ 7

12月21日【鹿島市七浦】ミコアイサ 1、ツルシギ 6
【鹿島市浜川河口】クロツラヘラサギ 24、ヘラサギ 1

12月27日【鹿島市七浦】ツルシギ 10
【佐賀市久保田町】ベニヒワ 1、ハイタカ成鳥 1、クロツラヘラサギ 8、
アカアシシギ 4

2015年 ※ベニヒワは、カワラヒワの小群とナンキンハゼの実を食べていた。

1月2日【佐賀市金立町】オオタカ幼鳥 2

1月4日【小城市下古賀】ツクシガモ 29

1月16日【新籠】シロチドリ 49、ダイゼン 41、ツクシガモ 428、ヨシガモ 24
ズグロカモメ 446+

1月17日【鹿島市中木庭ダム】トモエガモ 1、オシドリ 75、ノスリ 1

1月23日【鹿島市中川下流】オオバン 6

1月31日【大授搦】コクマルガラス 34 淡色になりつつある個体（若?）も

■中村 孝子さん（鹿島市）

2014年

6月16日【鹿島市重ノ木】シジュウカラのひな 2（自宅裏）

11月10日【嬉野市塩田町谷所】ハヤブサ、カワセミ

- 11月12日 【鹿島市重ノ木こごもり橋】カワセミ♂♀、アカアシシギ4
 12月4日 【鹿島市能古見片山橋】シジュウカラ、カワウ、コガモ4
 12月29日 【鹿島市七浦・道の駅】イソヒヨドリ♂、ツクシガモ5
 【鹿島市母ヶ浦ため池】カンムリカイツブリ1、オオバン40、ゴイサギ、アオジ

■加藤 芳隆さん（上峰町）

- 1月1日 【佐賀市大和町】ヤマセミ2、オシドリ
 1月1日 【鳥栖市朝日山】シロハラ、ツグミ、ショウビタキ♂♀、ルリビタキ♂、クロジ
 1月2日 【神埼市】ベニマシコ、ミヤマホオジロ、ホオジロ、ウソ（声のみ）
 1月3日 【佐賀市金立町】トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、コガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、カルガモ、マガモ、ミサゴ、ハイイロチュウヒ♀、オオタカ
 1月4日 【佐賀市川副町】コミミズク、タゲリ、ツグミ、オオジュリン、ハイイロチュウヒ♀、コチョウゲンボウ
 1月18日 【佐賀市森林公園】イカル 【上峰町鎮西山】シロハラ、ルリビタキ♂♀
 【佐賀市大和町】オシドリ215
 1月25日 【小城公園】カササギ、ミヤマガラス、ハシブトガラス、イカル、アオジ、カワセミ、コサギ、ダイサギ、ゴイサギ、カイツブリ、ヒヨドリ、シロハラ
 1月25日 【小城公園】イカル、ヒレンジャク9
 2月1日 【福富町】コチョウゲンボウ、ツリスガラ、ホオジロ、クイナ、ツグミ



ヤマセミ



コミミズク

■小松 常光さん（唐津市相知町）

- 1月9日 【唐津市北波多】エナガ、オシドリ、マガモ
 1月12日 【伊万里市大川町】ノスリ 【有田川】カワセミ、カワウ
 【伊万里市長浜干拓】クロツラヘラサギ1、キジツがい
 【唐津市相知町】ミサゴ
 1月21日 【唐津市相知町】ノスリ 【唐津市上空】マナヅル北帰行（30数羽）
 1月23日 【唐津市相知町】ハヤブサ 【有田川】カワセミ、カワウ
 1月24日 【唐津市相知町&伊万里市大川町】ノスリ

- 【嬉野市塩田町】 ミサゴ 【鹿島市】 ツクシガモ
 1月25日 【佐賀市東与賀町】 ヒバリ、アトリー群（数百羽）
 1月27日 【唐津市相知町】 アトリー群（数百羽）
 1月29日 【唐津市相知町】 ミサゴ
 2月1日 【唐津市相知町】 アトリー群（百羽以上）、カワラヒワ、
 タカ（上空旋回・種類不明）
 2月2日 【唐津市浜玉町】 ムクドリ
 【唐津市北波多】 オシドリ、キンクロハジロ、カイツブリ
 2月3日 【唐津市北波多】 カイツブリ、オシドリ、カワウ、
 タカ（上空旋回・種類不明）
 【唐津市相知町】 カワラヒワ、ミヤマホオジロ



オシドリの群れ



ノスリ

■馬場 清さん（嬉野市）

1月17日 【鳥栖市新鳥栖駅上空】 クロハゲワシ（16ページに詳しく掲載。）

■丹羽 昭一さん（みやき町）

1月23日 【榎原湿原】 カルガモ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、カケス、ホオジロ、キクイタダキ、ノスリ

【天山】 カケス、ホオジロ 【八丁ダム】 カワセミ、エナガ、ホオジロ

【小城公園】 ルリビタキ、コゲラ、ホオジロ、ヒレンジャク

■永島 博さん（佐賀市）

2月3日 【佐賀市北川副町】 アトリーの大群



ヒレンジャク（丹羽昭一さん撮影）



アトリーの大群（永島博さん撮影）



森林公園東側で整備工事

木々ばっさり 愛鳥家困惑

バリアフリー化など公園整備のため木々が伐採されたエリア。野鳥観察スポットだったため、愛鳥家は説明不足と抗議している。佐賀市の県立森林公園



佐賀県が進めている県立森林公園の東側エリアの整備工事に対し、愛鳥家から困惑の声が上がっている。樹木を伐採した工事エリアは、愛鳥家の観察スポットになっていたため、愛鳥家団体は昨年末、工事前の告知が不十分だったとして、県に抗議した。

野鳥の会「告知不十分」県に抗議

県まちづくり推進課によると、整備計画に基づき2010年度から段階的に工事を始め、昨年8月から樹木が多かった公園東エリアの工事に着手した。周辺部の樹木を残して野鳥観察ができる「森林ゾーン」と、中央部に広場や遊具などを置く「公園ゾーン」を設け、駐車場も整備する。17年度ごろに完了する予定。工事が始まると、公園利用者や愛鳥家から「（整備の）青写真を示してほしい」「樹木が無残に伐採されていて驚いた」などの意見が県に寄せられた。意見を受け、県は昨年9月、整備目的を園内に掲示した。

前に説明がなかったとして県に抗議した。県支部は「数百本の樹木が伐採された」とみており、「これだけ工事が進むと現状回復は難しいだろうが、説明もなく突然工事が始まったことには納得いかない。鳥のすみかがなくなり、寄ってこなくなるのではないか」と危惧している。森林公園は、1973年から段階的に供用を開始、現在の面積は球場を含む公園全体で約40畝。公園東部分は40年以上経過し、園内のバリアフリー化や樹木の維持管理費の抑制などが課題に挙がっていたという。県まちづくり推進課は「工事前のアンケート結果では『雰囲気が悪い』『怖い』などの意見もあった。公園利用者のニーズを踏まえて工事している点や、木を残すエリアがあることも説明し、理解を得たい」としている。（山口貴由）

(15/1/22 付け：佐賀新聞)





武雄市武内町柿田代の水田に飛来したマナヅルの群れ

マナヅル100羽 羽休め 武雄市武内町

武雄市武内町柿田代の池ノ平地区の田んぼに、25日夜から26日にかけてマナヅル約100羽が飛来した。野鳥の専門家は、国内最大のツルの越冬地、鹿児島県・出水平野からの「北帰行」の途中、羽休めのために立ち寄ったとみている。

池ノ平地区の北川敏行さん(64)は、25日夜に「聞いたことがないような鳴き声でした。翌朝、見てみたらツルが群れていた。初めてのことでびっくりした」と

いう。ツルは田んぼでエサをついばんでいた。

日本野鳥の会の宮原明幸県支部長は「出水のツルの北帰行は20日に始まっており、繁殖地のシベリアなどに帰る途中、羽休めのために降りたのだろう」と話す。県内に立ち寄ることはあるが、「こんなに早い渡りは珍しい」という。例年は2月上旬だが、暖かい陽気が続いたために早まったようだ。(横尾章)

(15/1/27 付け：佐賀新聞)

愛好家が写した野鳥の写真50点

干潟展望館

鹿島市

日本野鳥の会創立80周年

を記念した写真展「未来に残したい鳥風景」が、鹿島市の市干潟展望館で開かれている。生息地の減少など環境が変わる中、たくましく生きる野鳥の姿を捉えた作品など約50点が並んでいる。31日まで。

応募1775点中、入選した30点を昨年10月から今年3月にかけて全国8カ所



変わりゆく環境と野鳥を捉えた入選作品が並ぶ鹿島市の市干潟展望館

で展示する。3カ所目となる鹿島市では、入選作のうち20点を並べ、戦前など過去の写真や県内の愛鳥家の作品も展示している。



(15/1/18 付け：佐賀新聞)

優秀賞「観戦」は、野鳥の生息地が減る中で、人里に降りたチヨウゲンボウが空からスポーツ観戦している様子を活写。入選作の中には鹿島市の中村さやかさんの作品「そーっとそーっと」もあり、ムクドリが飛び立たないように女の子がこっそり近づく情景を捉えている。

日本野鳥の会は「野鳥のアップではなく、生活空間とともに表現されている。写真を通して、野鳥保護を考える機会にもらえれば」と話す。(円田浩二)



世界のナベツル、マナツルの大半が越冬する鹿児島県・出水平野で、今季も高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染が相次いでいる。集団感染で大量死すれば、種の存続が脅かされかねない。危機感を強める国は、越冬地を各地に分散させる前例のない計画を進めているが野生の鳥が相手だけに手探りが続いている。

ツルはかつて日本各地の湿地、水田地帯にやっけていたが、宅地開発や減反政策の影響で越冬地が激減。国は1952年に出水平野を特別天然記念物に指定した。出水市は当初、農業被害に頭を抱えたが、ねぐらを設置したり餌をまいたりして共生の道を選んだ。

努力の結果、市によると、52年に約260羽だった飛来数は97年以降、1万羽を突破し続け、昨年11月には過去最高の約1万4千羽を記録。世界の推定個体数のうちナベツルは約9割、マナツルも約5割を占める。だが、専門家は「過密化が進み、感染症により種の存続が危ぶまれる」と警鐘を鳴らす。実際、2010

鹿児島・出水平野

ツル越冬地 集団感染で絶滅危機も

ツル分散化手探り



鹿児島県・出水平野に飛来したナベツル
2014年10月同県ツル保護会提供

4候補地は消極的



航している。

「ツルの里」を掲げる周南市の八代盆地。越冬数は減少が続き、今季はわずか6羽だった。06年以降、出水市からけがをしたツル計17羽を譲り受けたもの。「翌年に戻ったツルはいない」(市生涯学習課)という。計画を前進させようと環境省は13年に検討会を設置、飛来しても定着しない原因の調査を進めた。その結果、四万十市では狩猟や市民の過度な接近などが影響を停止した。

観光客増加につなげたい伊万里市は、出水市の鳥インフルエンザを受けて誘致活動を停止した。伊万里鶴の会の一瀬秀春代表は「今季は7羽が越冬したが、現在は監視しているだけ」と残念そう。新上五島町は「何も検討していない」状態だ。四万十市では市民がねぐら作りに取り組み、今季は

環境、農林水産両省など万里市、長崎県新上五島町の4カ所を候補地とし、計千羽を移す目標を掲げた。しかし、人為的に分散させるのは世界でも前例がない。周南市(山口県)は「何も検討していない」状態だ。四万十市では市民がねぐら作りに取り組み、今季は

(15/2/8 付け：佐賀新聞)





必需

双眼鏡

はじめはぼくて
そのうち
絶対ほしくなる



バードウォッチングを
はじめる時に必要に
なるもの

図鑑

イラストや写真が好みで



いろいろな本が出版されて
いるので、自分に合う
ものを...



えーっと

そりゃからう...

家族の理解



「お父さん、お母さん、
お兄さん、お姉さん、
おじいちゃん、おばあちゃん、
みんな、おはようございます。」

春ですねー

1/29


シジュウカラ
オムズリ



チロチロチロ

2/11


ウグイス
オムズリ



ホーホケ
キョ

2/13

カワラヒワ
オムズリ



キンキンコロコロ
ピッピッ

2/14

コジュケイ
オムズリ



チョーチョー
チョーチョー





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費一般 300 円・会員 100 円・中学生以下無料)

日時：3月1日(日)、4月5日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：3月3日(火)、4月7日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：3月14日(土)、4月11日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：3月8日(日)、4月12日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：3月15日(日)、4月19日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：3月28日(土)、4月25日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費 100 円)

日時：3月1日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：朝倉市・甘木公園 / 集合：10:00 甘木公園噴水駐車場前

担当：木原直人さん 携帯：090-4516-4467

日時：3月8日(日) 高良山・四季の森探鳥会 (企画探鳥会)

場所：久留米市・高良山 / 集合：10:00 高良幼稚園駐車場

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：3月15日(日) 船小屋中ノ島~筑後広域公園 (企画探鳥会)

場所：筑後市・みやま市 / 集合：9:00 中ノ島公園遊具広場

担当：江口浩喜さん 携帯：090-4516-1123

日時：3月22日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・濃施山公園 / 集合：9:00 濃施山公園内すいせん橋

担当：野田達行さん TEL：0944-58-1672

日時：3月29日(日) 藤波ダム、合所ダム~ダイハツ調整池 (企画探鳥会)

場所：うきは市、久留米市 / 集合：9:10 JR 久大線吉井駅前

担当：池永裕史さん 携帯：090-1773-1896



MINI BIRD GALLERY

←マナツルの編隊飛行

婚姻色のカワウ→

写真提供：小松常光さん



~編集係りからのお知らせ~

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集係り：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 TEL:0942-84-4391 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①2/22 ④3/22 ⑥4/5 東与賀・大掬



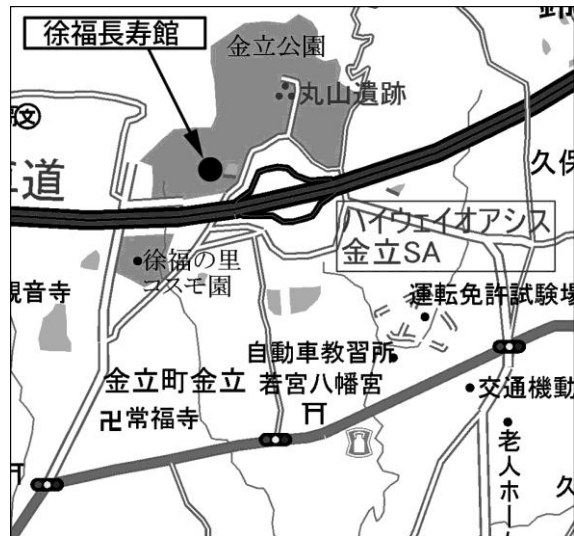
②3月1日 小城市・小城公園



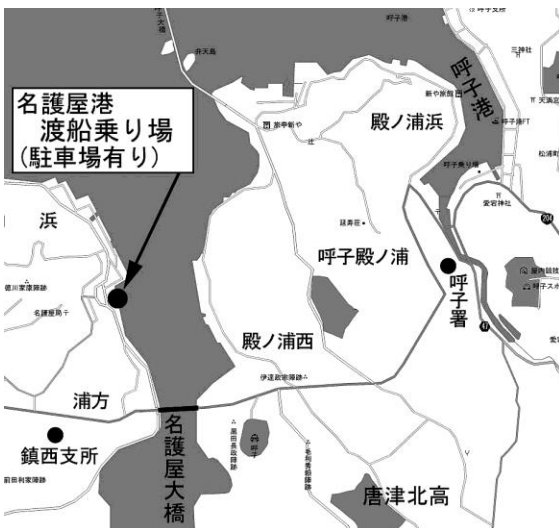
③3月8日 ⑦4月12日 佐賀市・森林公園



⑤3月29日 佐賀市金立「徐福長寿館」



⑧4月26日 唐津市・馬渡島



表紙の写真「冬の使者たち」

- ①ヒレンジャク
- ②ダイシャクシギ
- ③ツクシガモ
- ④ハギマシコ



【写真提供】

- ①加藤芳隆さん
- ②③小松常光さん
- ④八木ひとみさん





観察会などのご案内 (2015年2月下旬～4月)

①2月22日(日) ④3月22日(日) ⑥4月5日(日)

東与賀大授搦海岸観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00 大授搦海岸展望台
[担当] ①⑥田中丸雅雄さん 080-1707-9225
④ 中村さやかさん 0954-60-4424
[見どころ] 3/22は「親子&初心者の観察会」として開催します。身近な方をお誘いください。

②3月1日(日)

小城公園観察会(小城市)

[集合] 09:00 小城公園駐車場
[担当] 青柳 良子さん(小城市)
[携帯] 090-1659-7353
[見どころ] 園内の梅を楽しみながら、公園内の小鳥たちをウォッチング。

③3月8日(日) ⑦4月12日(日)

森林公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 09:00
佐賀市久保田町 県立森林公園 北側駐車場
[担当] 島田洋さん(佐賀市) 090-2393-1286
[見どころ] 冬鳥、夏鳥の渡りの季節です。渡り鳥の休息地でもある森林公園ですが、工事の影響がどれくらいあるか?

⑤3月29日(日) 金立公園

野鳥観察&天ぶら会(佐賀市金立町)

[集合] 09:00 金立公園内の「徐福長寿館」前駐車場
[担当] 原野 正道さん(唐津市) 080-5215-7459
青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353
[参加費] 500円
[見どころ] 公園内の野鳥&春の野草観察と「野草の天ぶら会」です。“春”を食べます。

⑧4月26日(日) 馬渡島観察会(唐津市)

[集合] 8:20 唐津市鎮西町の名護屋港駐車場。 名護屋港 08:35 発の渡船に乗船します。
[担当] 馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852
[見どころ] カラスバトのほか、北へ向かう鳥や東へ向かう鳥が交差する渡りの中継地点として、意外な鳥との出会いがあるかも。
[その他] ①船賃は往復 1,720 円です。 帰りは馬渡島 13:00 発の渡船です。(その後は 16:00 です)
②お握りやお茶など、簡単な昼食をご持参ください。 雨具、タオルなども必要です。
③少しアップダウンのある島内を 6km ほど歩きます。 軽快な足回りを。 約 3 時間半の観察会になります。
④港付近以外には店、トイレはありません。 ご注意ください。

共通事項

- ① 資料代、保険代として 100 円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2626(代) FAX 03-5436-2636
日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
事務局：島田 洋(電話：携帯 090-2393-1286)
〒849-0934 佐賀市開成 1-3-11
郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」